



# PROPERTY PLANNING AND DESIGN

---

やまなし拠点運営計画  
- 建築提案資料 -

2023.3.30

**TSUKURUBA**

# 目次

1. 施設レイアウト
2. デザインイメージデザインイメージ
3. その他施策・概算検討


参考資料


# 1. 施設レイアウト


# 施設ゾーニング


各フロアに役割機能を持たせ、フロアで利用者ゾーニングを分け、使い勝手やセキュリティに配慮したゾーニング。

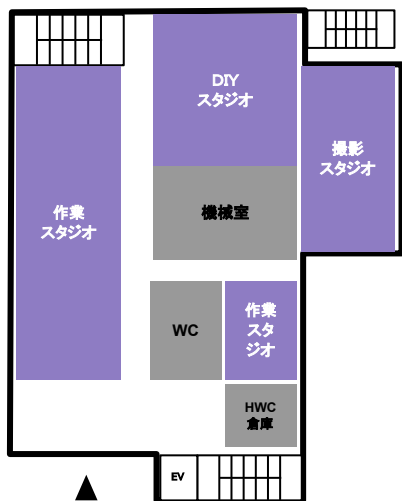
凡例

 :スタジオ利用者+登録会員+一般利用者(ドロップイン)

 :スタジオ利用者+登録会員+一般利用者(ドロップイン)+地域住民利用可能エリア

 :スタジオ利用者+登録会員利用可能エリア  
(会議室は会員アテンドの基、外部者と打合せ利用)

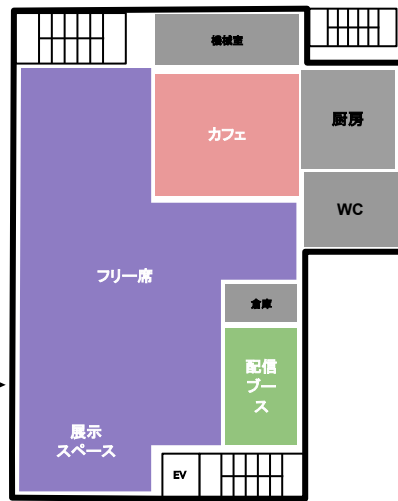
 :スタジオ利用者利用可能エリア



## 1F

製作作業や大型機材搬入が出来るスペースを配置

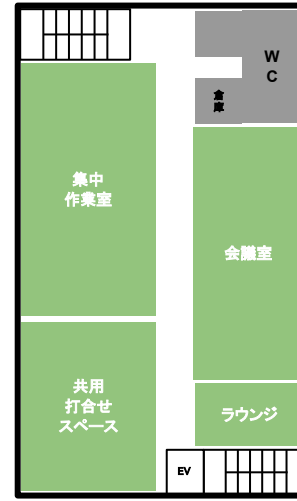
- ・DIYスタジオ
- ・作業スペース
- ・撮影スタジオ



## 2F

地域住民も利用できる開放フロア  
展示やイベント等を開催

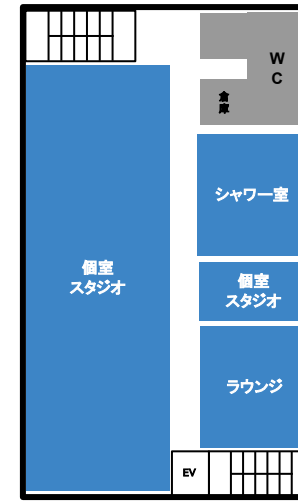
- ・受付機能
- ・カフェ
- ・フリー席
- ・展示スペース
- ・配信ブース



## 3F

個別席利用の集中作業室と  
研修・打合せ・商談での会議室  
を配置

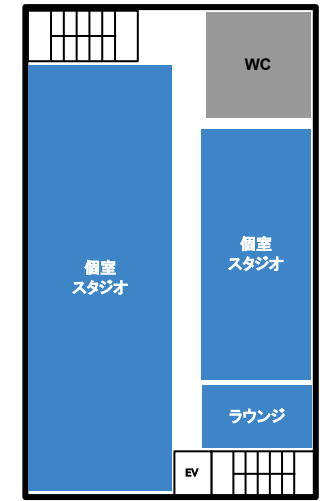
- ・集中作業室
- ・会議室
- ・共用打合せスペース



## 4F

個室スタジオフロア  
作業や夜間テスト等も想定しシャ  
ワー室・仮眠室を配置

- ・個室スタジオ
- ・シャワー室/仮眠室
- ・共用ラウンジ



## 5F

個室スタジオフロア

- ・個室スタジオ
- ・共用ラウンジ

# 1階構成

製作作業や簡易実験が実施できる目的別で機能を持ったスタジオを配置。  
地上レベルのため、大型機材搬入が可能で、テストプロダクト作業に対応。

## 機械室

キュービクルとしても空きが出る場合は、太陽光設備などの計画が実行となる際、蓄電池配置場所として利用。

無窓居室のため、機械室とならない場合は倉庫利用、もしくは、会員のプロダクト試作品の保管庫として活用。

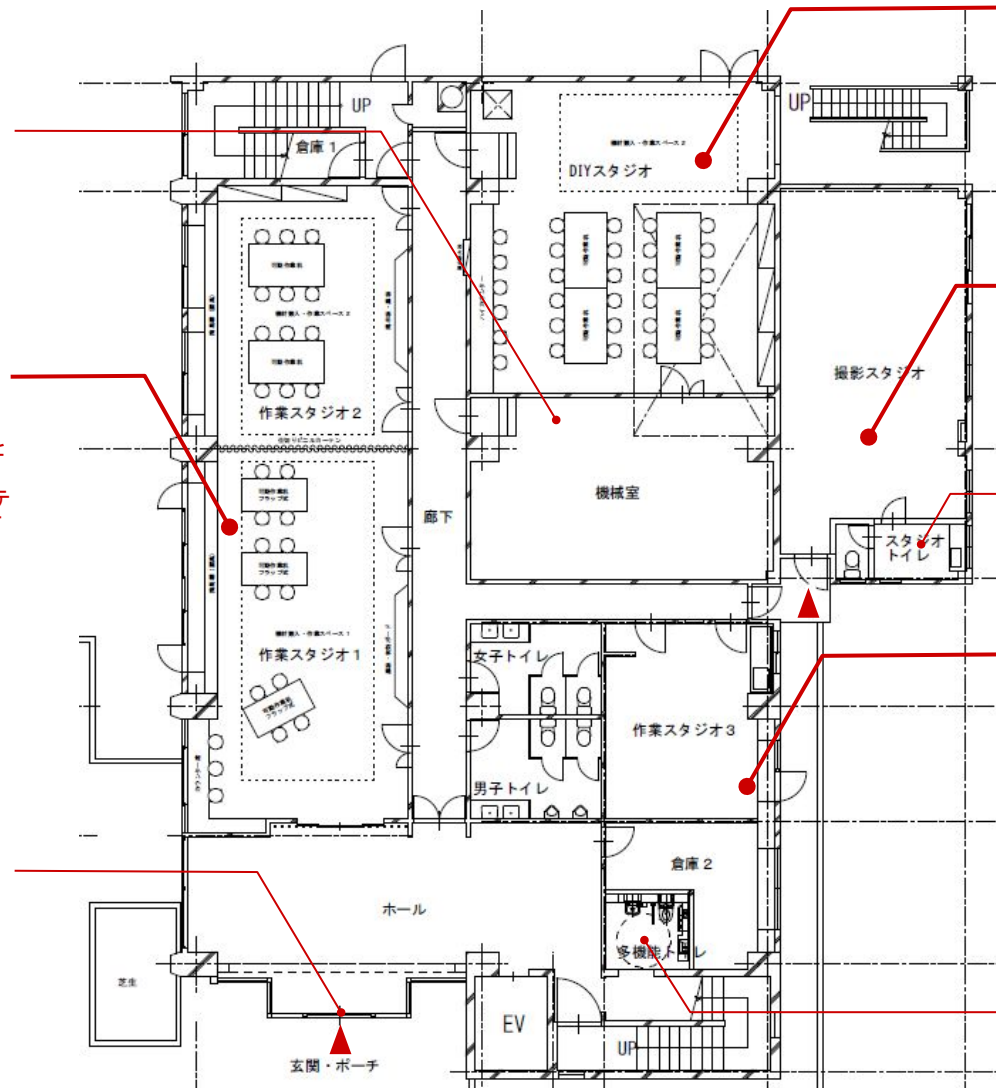
## 作業スタジオ1・2

什器や機材を持ち込んだの平場作業やデスク作業ができる場。家具は可動・フラップ式の机とし、必要に応じて広く使える仕様。

作業スタジオ1と2の間には工場用ビニルカーテンを設置し、作業エリアを簡易に分けることも可能。

## 出入口運用

1階出入口は基本施設とし、呼び出しシステムで受付と連動し、1階入退館(車いす利用者や搬入)を管理



## DIYスタジオ

ミニ3Dプリンタや簡易レーザーを配置。試作品やテスト部品検討などの、ちょっとした検討作業が行える室。本格施策検討は、県の連携施設で実施する形で役割と設備機能の棲み分けを行う。

## 撮影スタジオ

プロダクトの写真撮影やPR動画撮影を行う撮影専用室。家具は基本配置せず、背景スクリーンや暗幕などを備品として完備。(カメラなどの機材設備は会員対応もしくはカメラマン依頼)

出入口が独立しているため、セキュリティ上、外部へ単体貸出が可能。本館共用部に入らず、撮影室で、アメニティが完結できるよう、水回りを設置。

## 作業スタジオ3

水回りを完備した作業スタジオ。水を利用するプロダクトや塗装作業などがある場合も活用できる作業スタジオとして利用可能。

## 多機能トイレ改修

現状1畳サイズで扉もカーテンのため、今回改修でバリアフリー対応・扉含め改修

# 2階構成

地域住民も利用できる開放フロア。多くの人が集まるエントランスでもあることから、展示やイベントを開催し発信機能も持つフロアとして構成。フリー席会員の利用できる空間としても活用し、企業間・地域との交流を図る。

## ステージ

イベント時にはステージとして利用できる、1段上がったスペース。壁面にプロジェクター照射をし、プレゼンターの気分の上がるステージとして演出。

## ラウンジ

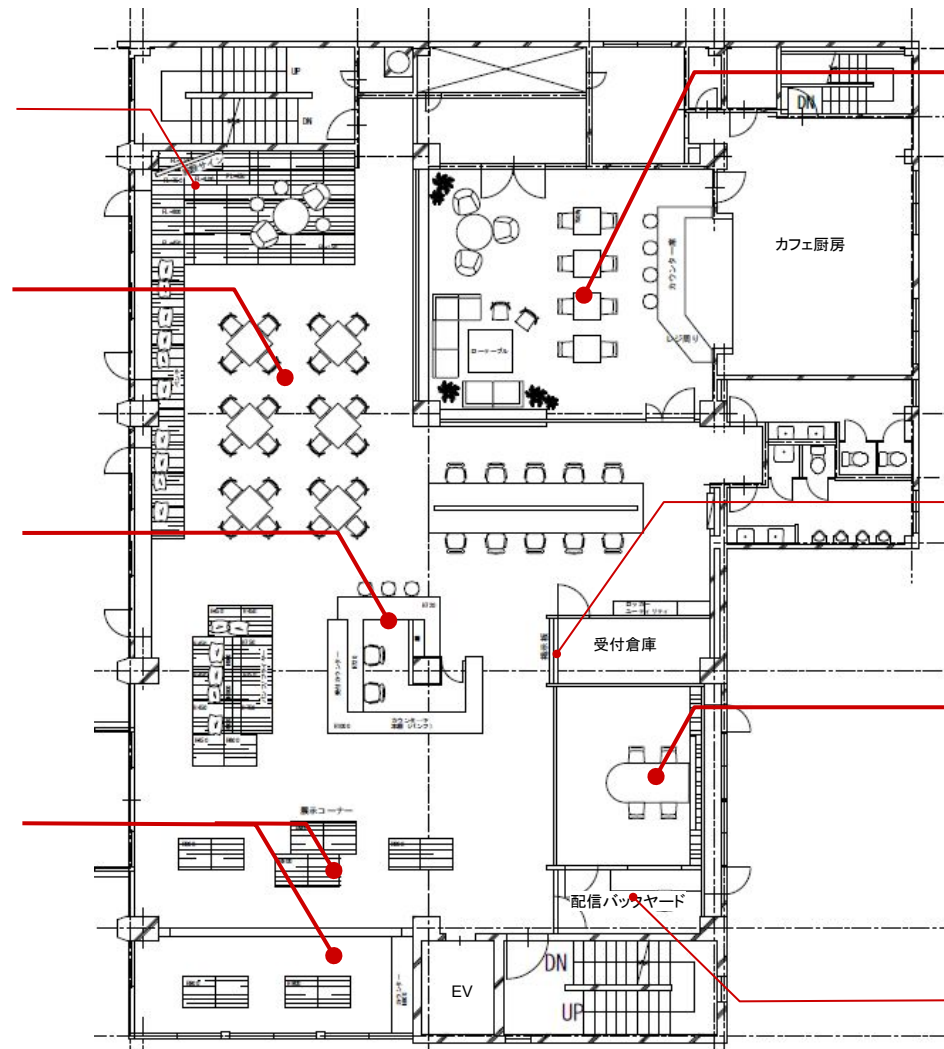
常時は、登録会員とスタジオ利用者が利用できるラウンジ席。イベント時はレイアウトを変更し、30人～50人(立ち見含む)イベントが可能。

## コミュマネカウンター

コミュニティマネージャーのメイン席。受付機能やOPEN時間帯の人の目での抑止(セキュリティ)を兼ねる。視認性を高いフロア中央に配置し、会員や地域の人からも話しかけやすさを向上。カウンターには本棚やパンフレットを並べる事も可能。

## 展示スペース

エントランスから目立つスポットに企業プロダクトや実績を魅せる展示コーナーを配置。可変可能なパレットとし、展示内容に合わせフレキシブルにレイアウト。



## カフェ

地域の人も利用できるカフェ。既存厨房を活用し軽飲食を提供。イベント時のパントリーとしても活用。施設利用者をコアターゲットとし、施設のなかでリラックスできる場所として活用。

## 掲示コーナー

イベントインフォメーションや入居者紹介をする掲示板を設置

## 配信ブース

エントランスから目立つアイストップに配置し、象徴的な配信スペースとする。ガラス張りとし、魅せる配信コーナーとして設える。

## バックヤード

配信裏方作業部屋。配信時間帯を避け、コミュマネの休憩室として兼用し室面積効率を図る。コミュマネの荷物置きは、受付倉庫。



# 3階構成

登録会員用の個別席の集中作業室と、研究・打合せ・商談での大小会議室を配置。  
視察などでチームで来訪するシーンを想定し、10人会議室をベースとして計画。

## 集中作業室

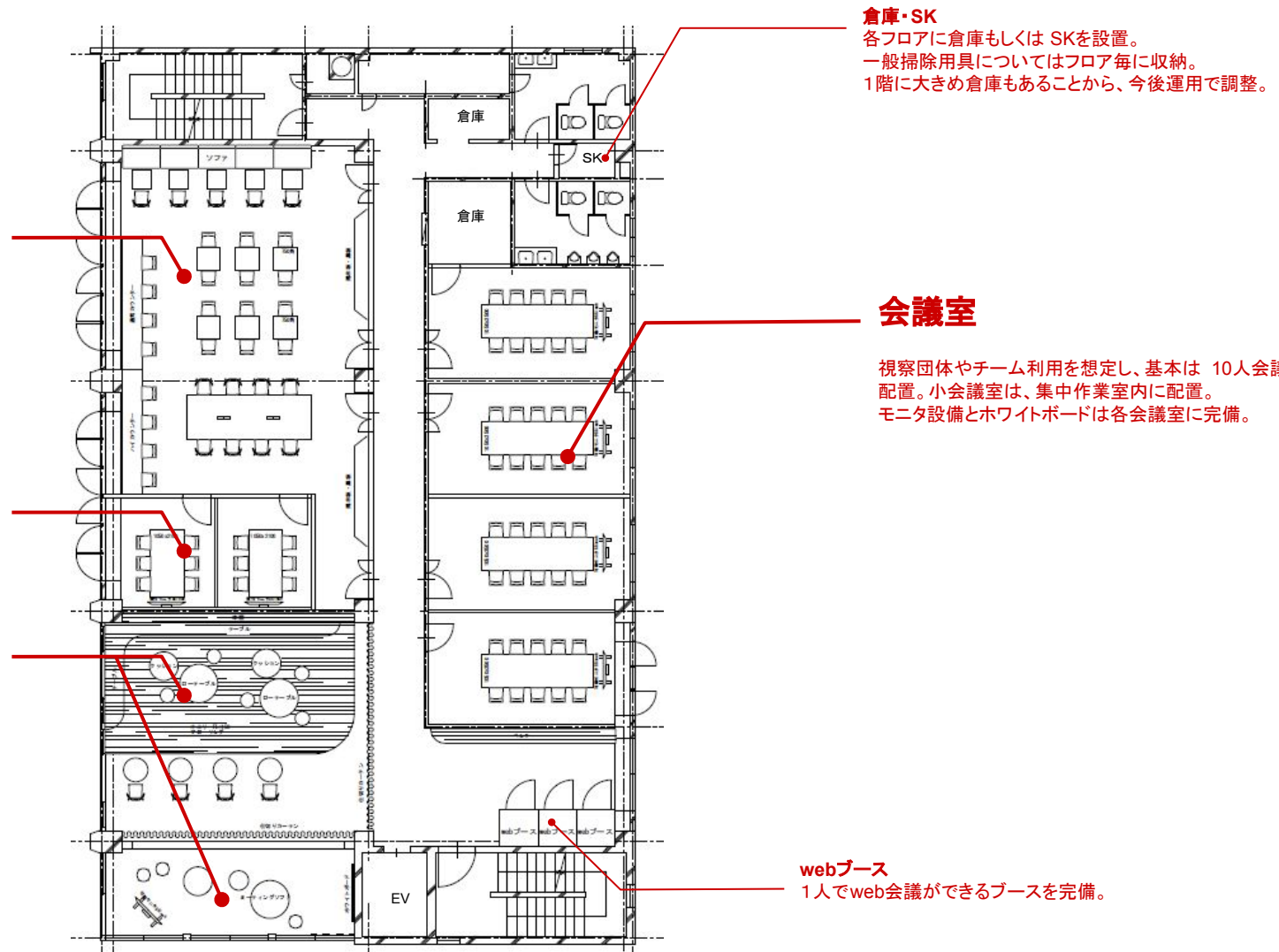
登録会員とスタジオ利用者が利用できる個別席の作業スペース。  
ソファ席やテーブル席や窓側カウンター席など、席を選んで作業が可能。  
集中作業は3階、ラフ作業は2階など、作業利用ゾーンを運営や仕組みでデザイン。

## 小会議室

少人数打合せの際に利用できる会議室。  
モニタ設備とホワイトボードは各会議室に完備。

## ミーティングスペース

小上り・本棚コーナーとし、カジュアルな打合せや気分を変えてプレストする際に活用。  
カーテンで簡易で仕切れる仕様。  
フリーミーティングスペースで利用されていない時間帯は、個人の作業席としても活用。



## 倉庫・SK

各フロアに倉庫もしくはSKを設置。  
一般掃除用具についてはフロア毎に収納。  
1階に大きめ倉庫もあることから、今後運用で調整。

## 会議室

視察団体やチーム利用を想定し、基本は10人会議室で配置。小会議室は、集中作業室内に配置。  
モニタ設備とホワイトボードは各会議室に完備。

## webブース

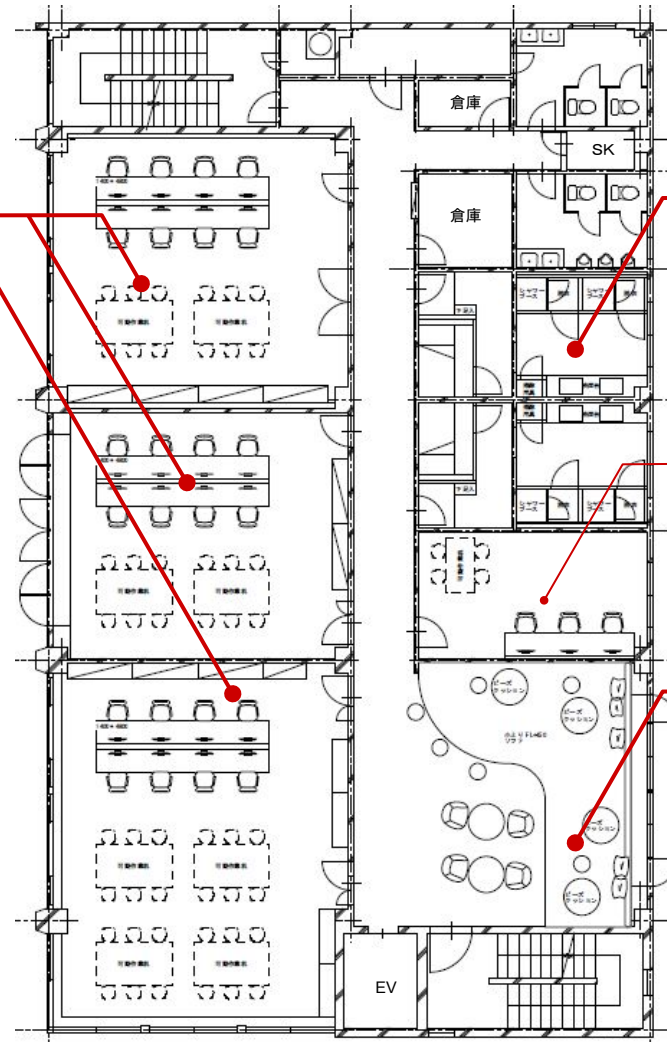
1人でweb会議ができるブースを完備。

# 4階構成

個室スタジオフロア。基本は8~20人想定個室を配置。  
共用スペースを設け、休憩でゆったりできるスタジオ会員専用の小上りスペースを配置。

## スタジオ個室

8~20人想定の大スタジオを配置。  
個室の半数は常設デスクとし、残り半分は必要に応じてデスク・椅子を貸出配置できるフレキシブルな個室を想定。



## シャワー室・仮眠室

長期利用や操作時の汚れ、夜間試験を鑑みて、シャワー室と仮眠室を配置。  
試験作業時の作業着への更衣室としても兼ねる。  
24時間利用施設のため、男女に分け、駆けつけボタンなどのセキュリティについて完備。  
アメニティやタオルなどは運用調整のもと、基本的にはセルフで検討。

## 小規模スタジオ

既存間仕切の制限からできる窓在り小部屋について、倉庫ではなく、1室だけ小規模スタジオとして活用。

## 共用ラウンジ

スタジオ会員専用の共用ラウンジ。  
作業の合間の休憩スペースとして利用可能。  
小上り仕様でゆったりできる空間として計画。  
企業間・チーム同士の交流のきっかけとなるスペースとしても活用。

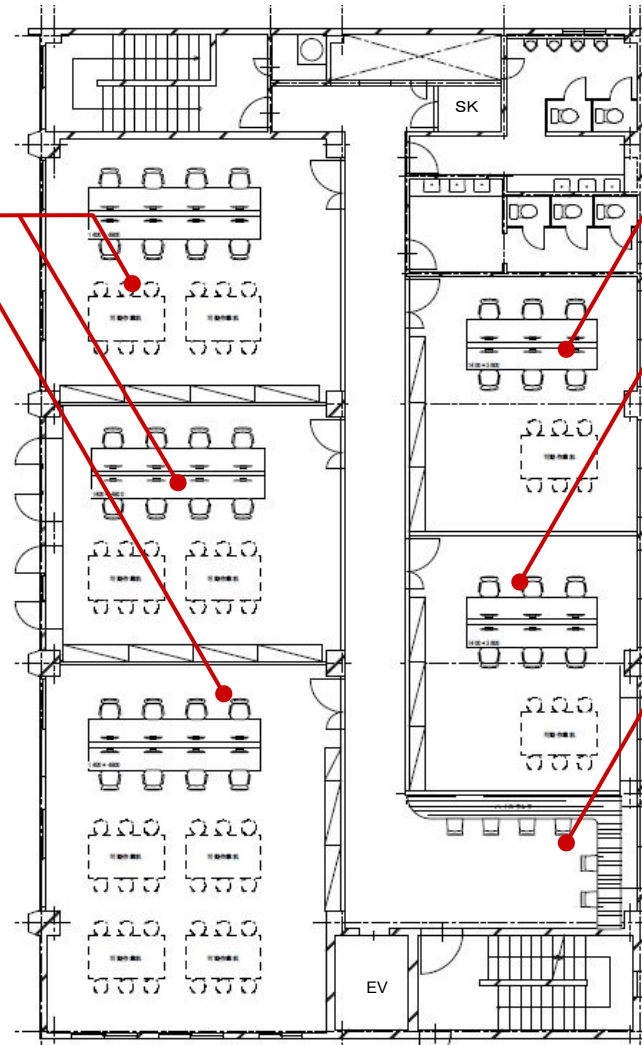


# 5階構成

個室スタジオフロア。基本は8~20人想定個室を配置。  
共用スペースを設け、休憩でゆったりできるスタジオ会員専用のカウンタースペースを配置。

## スタジオ個室

8~20人想定の大スタジオを配置。  
個室内席の半数は常設デスクとし、残り半分は必要に応じてデスク・椅子を貸出配置できるフレキシブルな個室を想定。



## スタジオ個室

8~20人想定の大スタジオを配置。  
個室内席の半数は常設デスクとし、残り半分は必要に応じてデスク・椅子を貸出配置できるフレキシブルな個室を想定。

## 共用ラウンジ

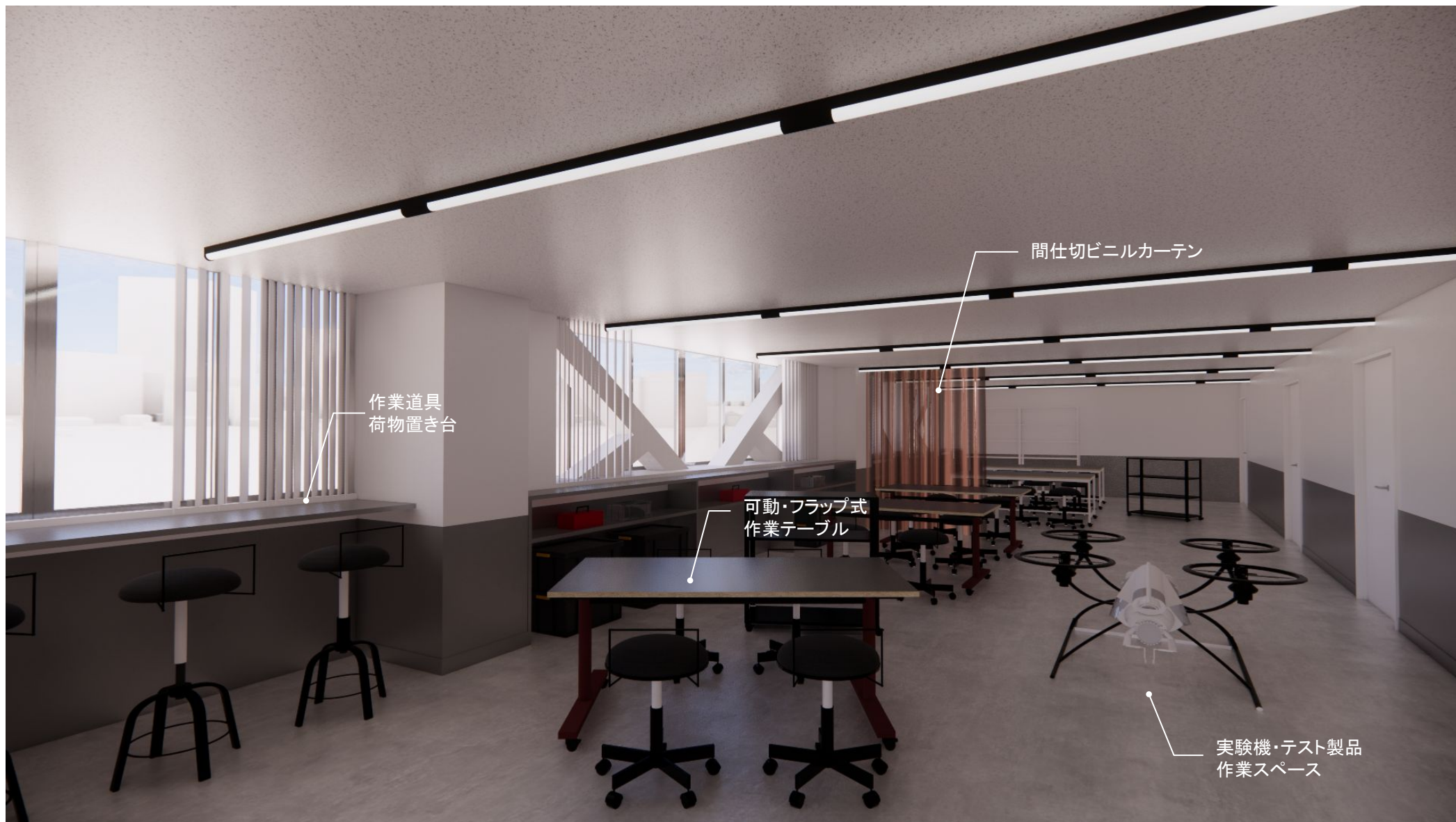
スタジオ会員専用の共用ラウンジ。  
作業の合間の休憩スペースとして利用可能。  
カウンター仕様で一人でもゆったりと休憩や一人査証ができる空間として計画。

## 2. デザインイメージ

# デザインイメージ: 1階作業スペース

製作作業や大型機材搬入が出来る作業スペース

※ 実施設計段階で法規上天井スケルトンが可能であればデザイン調整





# デザインイメージ: 2階ラウンジ

カフェやイベント開催等を行うエントランスラウンジ

※ 実施設計段階で法規上天井スケルトンが可能であればデザイン調整



# デザインイメージ: 3階集中作業室

ドロップインや登録会員も利用できる個別席利用の集中作業室

※ 実施設計段階で法規上天井スケルトンが可能であればデザイン調整





# デザインイメージ: 4階共用ラウンジ

作業中の気分を変えられる個室スタジオフロア共用ラウンジ

※ 実施設計段階で法規上天井スケルトンが可能であればデザイン調整





# デザインイメージ: 5階スタジオ

可動機と貸出テーブルでフレキシブルに利用できる執務スタジオ

※ 実施設計段階で法規上天井スケルトンが可能であればデザイン調整



# 共用部のデザイン

## 内装壁面にアートを取り入れ、施設イメージの伝達・施設のアイコン的な空間を創造

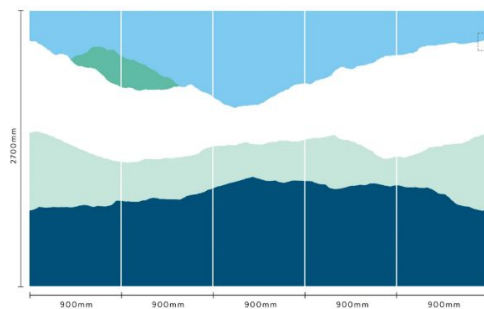
山梨をイメージするアートや県出身・在住のアーティストのアート等に作画依頼。  
ライブペイントで地域参加や作画風景を記録し、施設開設までの期待値向上施策に活用も可能。  
アート依頼先によっては、行政・初期会員・コアメンバー参加のアートワークショップも開催が可能。



何を描いてもらうか(施設の大事なコト)を考える



アーティストのライブペイントも可能(アートディレクションはツクルパで行います)



アートが難しい場合は、デザイン壁紙を使用して空間のアクセントとする

# 共用部のデザイン

塗装で安価にデザインアクセントを取り入れ、カラーで施設イメージやフロアイメージを想起

色でフロアイメージを想起させるようなデザインとし、暗くなりがちな空間を明るい印象へ導きます。  
塗装とし、費用面でもコストに大きく負担になることなく施工対応が可能。



プラン(躯体)上、廊下があるレイアウトとなるため、扉部分をテーマカラーにするなどで廊下もデザイン



階段壁面の塗装替えと合わせ、フロアサインにカラーリングをして敢えて目立たせることで、暗くなりがちな階段室を明るい印象の施設動線へ改修



# 共用部のデザイン

## 県産材を活用したインテリアとし、ショートマイレージや地場木材活用の面で環境に配慮

地域の方も集まり施設エントランスフロアとなる2階のインテリアに、県産木パレットを活用し、見た目の面白さのあるアイコンックな素材で、施設コンセプトと環境配慮の面を魅せるデザイン



### —— PALLET パレット

パレットとは、荷物の保管、構内作業、輸送のために使用される「すのこ」のような台のことで、荷物を載せるための荷役台で、フォークリフトで作業をして物流に用います。荷物を手作業で倉庫内やトラックへ移動させずに、フォークリフトで一度に移動させることが可能なので、物流業ではかかせないアイテムとなっております。

木製パレットは、木の特徴を生かした多種多様なパレットが製造可能です。飯島製材所では、お客様の使用環境に合ったオーダーメイドパレットを作成いたします。丸太からの加工作業から全て一貫して自社工場にて行うことにより、低価格、短納期、高品質な木製パレットご提供させていただきます。また、一枚から大ロットのオーダーまで対応いたします。





# 外構コンセプト

## 地域の人も施設利用者も利用できる見晴らしテラス

渡り廊下テラスに、屋外ベンチを設置し居場所を設ける。

省エネ施策のやソーラー充電やパーゴラなどを、外構に配置しPRとして地域へも魅せる。



渡り廊下

- ・屋外ファニチャの配置
- ・防水層改修(段差解消が施工上・法規上可能であれば木デッキ対応)
- ・エントランス軒部分に施設サイン設置



1階外構

- ・舗装、外構照明、植栽の改修
- ・渡り廊下柱部分の仕上げ改修
- ・アイキャッチとなる施設サインと格子デザインの意匠WALL

### **3. その他施策・概算検討**



# 省エネ計画

建物設備効率を高め、利用者や地域が省エネルギー活動に自然と参加できる環境施策

## 建物設備へのアプローチ

---

### LED照明への改修

老朽化した設備危機について、高効率機器への交換し、ランニングでかかるエネルギーを軽減します。

### 高効率空調設備への改修

新設設備で建物環境を向上しつつ、改修後の長期に渡るLCC(ライフサイクルコスト)を抑え、施設のランニングコストも抑えます。

### 2重サッシ化

断熱効果を高め、室内設備への熱不可を軽減し、施設全体の設備効率を高めます。

## 利用者へのアプローチ

---

### ソーラー電池外灯

### ソーラーEV車充電スポット

太陽光を活用した外構設備。見て目に分かりやすく、地域の方や施設利用者も触れられる環境施策とし、施設活動をPR。

## 地域へのアプローチ

---

### 水素エネルギー活用 中長期試験設備としての活用

※改修完成後にPJTスタート

### EVカーステーションへの活用 — 地域の人が触れられる施策

大学と企業と連携しての施策として実証実験をしていく  
シェアカーをやる場合は、シェアカー企業との連携

### 非常用発電機への活用 — 建物に還元される施策

大学と企業と連携しての施策として実証実験をしていく